

平成30年度 前期学校評価アンケートの集計結果と考察

1 前期学校評価アンケートの集計結果と経年比較

【アンケートの概要と集計結果】

領域	評価項目	生徒			保護者			教員		
		H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
自ら学び考える	1 生徒は、授業に意欲的に取り組んでいる。	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	2.8	3.0	3.0
	2 先生方は、わかりやすい授業を工夫している。	3.3	3.5	3.2	3.0	3.0	2.9	2.8	3.1	3.2
	3 生徒は、家庭学習の習慣が身につけている。	2.9	2.9	3.0	2.9	2.8	2.7	2.4	2.5	2.5
	4 生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている。	3.1	3.2	3.3	2.8	2.8	2.9	2.5	2.7	2.6
	5 生徒は、学校行事に仲間と協力して、積極的に取り組んでいる。	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.3
礼儀や思いやり	6 生徒は、明るいさわやかなあいさつができる。	3.3	3.2	3.4	3.1	3.1	3.0	2.4	2.7	2.6
	7 生徒は、場や相手に応じた言葉遣いを正しく身につけている。	3.1	3.1	3.4	3.0	3.0	3.0	2.4	2.5	2.8
	8 生徒は、好ましい友達関係ができており、楽しく登校している。	3.3	3.6	3.5	3.3	3.3	3.3	2.8	3.2	2.9
	9 生徒は、学校のルールや社会のルールを守っている。	3.3	3.2	3.5	3.3	3.2	3.2	2.6	2.8	2.9
	10 生徒は、周囲への感謝の心が育っている。	3.4	3.4	3.5	3.0	3.0	2.9	2.1	2.5	2.3
	11 学校は、人権教育が推進され、いじめや差別をなくす教育がなされている。	3.3	3.4	3.3	3.0	3.0	3.0	2.5	2.7	2.8
	12 生徒は、専門委員会等の生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。	3.4	3.4	3.6	3.2	3.1	3.1	2.8	2.8	2.8
心身健康	13 生徒は、部活動に目標を持って、意欲的に取り組んでいる。	3.4	3.4	3.6	3.3	3.2	3.2	2.8	2.9	3.0
	14 先生は、生徒の心身の悩みについて、迅速で適切な相談に努めている。	3.1	3.3	2.9	3.0	3.1	2.9	2.7	3.2	2.8
	15 生徒は、給食をおいしくいただけていて、残すことはない。	3.3	3.1	3.2	3.5	3.2	3.4	3.1	2.8	3.5
学校運営	16 学校は、清掃が行き届き、清潔である。	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	3.1	2.3	2.5	2.6
	17 学校は、安全面や環境整備に気を配っている。	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	2.5	2.8	2.9
	18 学校は、掲示物が充実しいろんな情報がわかりやすい。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.1	3.2	2.3	2.8	2.9
	19 学校は、学校・学級だよりやホームページ等で、積極的に情報提供している。	3.2	3.3	3.4	3.0	3.0	3.1	2.4	3.5	3.3
	20 学校の指導方針に共感でき、特色ある教育活動に満足している。	3.2	3.2	3.2	3.0	3.0	3.1	2.3	2.8	2.7

2 分析と考察

①大項目「自ら学び考える」について

○生徒評価は、「家庭学習の習慣が身につけている」以外は、3.2p（80%）以上の結果であり、良好である。特に、「学校行事に協力して積極的に取り組んでいる」との回答は3.6p（90%）と高い。「家庭学習」については、3年生が2.9pと低い傾向にあるのは受験生であることを考えると見直していく必要がある。3年生保護者の評価も他学年（2.8p）と比べても2.5pと低い状況にあるが、「自らの将来の行き方や職業について真剣に考えている」と評価する保護者は3年生が他学年保護者（2.8P）よりも3.0pと高く、相反する状況が見られる。

○教員評価では、「家庭学習」「将来の行き方・職業」についての評価が共に低く（2.5p・2.6p）、教員は課題と捉えている。

②大項目「礼儀・思いやり」について

○生徒評価は、7項目すべてにおいて3.3p以上の高い評価をしており、どの学年も落ち込みは見られない。特に、第2学年の数値は3.5p～3.7pと高く、大変良好である。保護者評価でも、「周囲への感謝の心が育っている」の項目について、どの学年も2.9p程度の評価であり、おおむね良好である。

○教員評価では、「周囲への感謝の心」が2.3pと全項目の中で一番低い。また、その他6項目についても2.6p～2.9pとなっており、生徒・保護者と教員との意識の差が明らかに大きい。生徒会活動で取り組んでいる「明るいさわやかなあいさつ」も2.6pと低く、生徒評価の3.4pとの差が0.8pもあり、意識の差が大きいことは、今後の改善点を示して

いる。

- 7項目すべてにおいて、前期評価は低いので、大項目である「礼儀・思いやり」に関連する、「あかるくさわやかなあいさつ」「言葉遣い」「好ましい友だち関係」「ルールを守る」「周囲への感謝の心」「いじめや差別をなくす教育」「生徒会活動への意欲的な取り組み」について、具体的に育成していく仕掛けに取り組んでいくことが後期の課題である。

③大項目「心身の健康」について

- 全体的におおむね良好であるが、「先生は、生徒の心身の悩みに迅速で適切な相談に努めている」ことについては、生徒・保護者・教員の三者がほぼ同じで、2.9p程度の評価である。特に、生徒評価では3年生が2.7pと低いこと、保護者評価では、1年・3年が2.8pと低いことが気になる。学校が行う教育活動の対象である生徒の中に「先生は、迅速で適切な相談してくれない」という意識をもたれている点は、教員が生徒の悩み相談にしっかり対応することに努め、信頼関係を保っていくことで対応して行く必要がある。そうすることが、生徒が安心して学校生活を送る礎となっていく。

④大項目「学校運営」について

- 「清掃・清潔」についての教師評価が2.6pと低く、3年生徒・保護者も2.8pと低い結果である。施設の老朽化もあるが、清掃への取組指導に力を入れていく必要性を感じる。また、「特色ある教育活動に満足」も教師評価で2.7pと低い点は教師自身の課題としていく必要がある。
- 「学校だより」「学級だより」等を使った情報提供については、3.1p～3.4pという結果であり、生徒・保護者・教員共におおむね良好である。継続して取り組んでいく。

⑤全体的に

- 教師評価は低いが、生徒・保護者評価は高い項目、逆に教師評価は高いが生徒・保護者評価は低い項目がある(N02・15)。また、三者共に低い項目もあるので、それぞれ内容を精査して、具体的に改善策を立て、改善に向け取り組んでいくことが必要である。
- 教師評価が全体的に低いが、学校教育目標等掲げている目標達成に向けて日々指導に力を入れていくことはわれわれの使命として捉えていくべきである。そのことを踏まえ、本来的に教師の指導の努力が求められているものと、その結果として生徒に身に付けさせることができたのかどうか問われるものとは性質的に違うことを認識して、指導の工夫を行い、努力していく必要がある。
- 3年間の経年で比較すると、教師評価では数値が低いものもあるが、すべての項目で改善されており、ここ数年の生徒・保護者への働きかけの成果といえる(特に、N02・7・9・15・16・17・18・19・20)。